

うとない

Vol.444 2025.5

2025年度

新人教育研修

今年も新人教育の時期となりました。社会医療法人こぶしについて知るとともに、普段はなかなか顔を合わせられない同期としての絆が強まる機会になったと思います。



理事長による講義の様子

昨年5月から今年4月までに入職したスタッフ16名を対象とした新人研修が行われました。新人の顔ぶれは看護部・リハビリテーション部・薬局・保育所と多岐にわたり、新人研修で初めて顔を合わせたという人達もいました。

座学は4月22日と23日の午前中に集中して行われ、1日目は片岡理事長の「病院の理念について」の講義からスタート。参加者もそれぞれ一言ずつ自己紹介し、和気あいあいとした雰囲気の中理念についての説明だけでなく、感情労働という側面を忘れずにそれぞれのプライベートも大事にしてほしいというアドバイスがなされました。ついで荘司看護部長から「看護のあり方」ということで看護部の理念や特に人権の重要性を強調した精神科看護の歴史が説明され、何か迷ったときには理念や倫理を振り返りながらその人らしい生活を目指すことを心掛

けるよう話がありました。「地域連携室について」は今野地域連携室長が担当し、医療相談課と地域連携室の違いが説明されました。ちなみに医療相談課は入院中の患者さんを担当し、地域連携室は外来患者さんを担当するほか新規の受診相談や入院相談にも対応しています。またチーム医療が当院の強みであり、チーム支援者を作っていくことの大切さが強調されました。「デイケアについて」ではまず実際にデイケアを見学しました。入院病棟とデイケアが同じ建物になったことで入院中から退院後を見据えたデイケア体験ができることの利点などが松田精神保健福祉士から説明されました。白鳥作業療法士からは「当院のリハビリテーションについて」ということで、まずリハビリテーション部内の各職種について説明がありました。ピアサポーターとの連携も当院の特徴であり、対象者が望む生活を実現するために入院中から多職種で関わることの重要性が語られました。

2日目は「植苗病院～ウトナイ病院のあゆみ」と題して大釜法人本部室長がこれまでの当法人の歴史を振り返りました。その後「医療安全対策について」「褥瘡対策について」「行動制限について」「感染対策・虐待防止について」「個人情報保護について」というテーマで各委員会スタッフからの講義がありました。行動制限の講義では実際の抑制帯を初めて見る人もいて、少なからずショックを受けたという感想も聞かれました。

施設見学は2班に分かれて実施。旧柳町診療所内にある相談支援事業所とまっぴと訪問看護ステーションこころっくる、その隣にある就労サポートセンター紙風船とグループホーム遊友荘をそれぞれ見学し各スタッフから説明を受けました。第一陣は4月30日に行われ、第二陣は5月14日の予定です。

新人の皆さんが一日も早く職場に慣れて、医療法人こぶしの一員として活躍してくださることを願っています。

2025年新人教育研修参加者 採用年月日順

工藤 朱莉 (2階病棟看護師)	荒 麻衣子 (3階病棟看護師)
加賀美 颯 (2階病棟看護師)	南 智美 (4階病棟看護助手)
池田 亮治 (4階病棟看護師)	中村 夕希 (外来看護師)
近藤 健琉 (精神保健福祉士)	富家 歩佳 (3階病棟看護師)
佐々木 加奈子 (薬局助手)	市町 文子 (4階病棟看護師)
川添 冴 (2階病棟看護師)	桐山 綾 (保育助手)
西岡 亜寿沙 (作業療法士)	京谷 泉美 (心理士)
佐藤 絵里 (2階病棟看護師)	今田 綾香 (外来看護師)



精神科医の 育休日記

精神科医 川並 剛

第2回 「かわいいと思うために？」

「子どもは無条件にかわいい!」、「いやいやそんな簡単ではない?」、どちらも正しいのではないのでしょうか。昔、親戚の小さい子が懐いてくれた時はかわいいなと思ったのですが、自分の子とは違うかなと思います。その自分の子の中でも違いはありまして…。

1人目が産まれた時はかわいいと言うよりも、初めて触れるこの壊れてしまいそうな生き物を一体どうしたものか、という思いが強かった気がします。首が座る頃には、抱っこしたり本を読んであげたりもでき、少しずつかわいいなと思っていったと覚えています。2人目はというと、コロナのため新生児の時は退院の時ぐらいしか会えず、その子が自宅にきてから「大体こんな感じだったかな?」とおじけずに世話ができ、結構かわいいなと思っていたとぼんやり記憶しております。3人目はというと、今までで一番かわいいと思いながら出産を迎えることになりました。では3人目が一番かわいいのかというとそうでもなくて、1人目の赤ちゃんの写真、2人目の赤ちゃんの写真を今見返してみると、3人目の子と同じくらい「めっちゃかわいい!」とくきゅんっ>とくるのです。昔の自分よりもかわいいと思っている今の自分に気づいたのです。

自分の中では、子どもをかわいいとか大事と思えるのは、子育ての中で「かわいい」と思っていく学習や日常生活でのふれあいでの「愛」の積み重ねである「自分の家族の絆」によるものなのだろうと自分では思うのです。

※ 今回から登場したタイトル画ですが、川並先生が大フアンの4コマ漫画の作者であるまりもさんをお願いして描いてもらいました。まりもさん、どうもありがとうございました。



Dr. 望月の日々雑感

植苗病院5周年記念誌が1990年に作られている。当時の緒方院長先生の人間関係の広さを感じ取れる。医学関係者は当然の事として、それ以外のメンバーが今考えると凄かった。藤本義一さん、土井たか子さん、横道孝弘さん、鳥越忠行さんなど豪華なメンバーが名を連ねている。もともと人当たりがよい緒方先生は、どんな人ともうまく具合に付合っていける不思議な才能を持った人だった。もちろんお世話になった医療関係者もびっくりするほど、参加していただいた。大学時代は学生運動の攻撃隊の私と金銭関係一途の緒方さんときれいに役割が決まっていた。当然のことながら捕まるのは私の方だった。父は私が生まれる前に死亡し、母は姉と私を育てるために大変だっただろうと改めて思う。あと何年生きられるか知らないが、緒方さんの分まで生きて、あの世で報告したいものだと思っている。そろそろこの独り言も誰かにバトンタッチしたいものだと思っているが…。



精神科医 田中 尚朗

第26回 駅探訪 グリーンウッド駅

みなさんこんにちは。ボストンでは3月以降、しばらく天候に恵まれない日々が続いていましたが、4月後半になってようやく春らしい陽気となりました。あちこち出かけて歩くには良いシーズンになってきました。4月中旬には「パトリオット・デイ」(愛国者の日)という記念日があり、独立戦争時の扮装をした人々によるパレードなど、各種イベントが開催されます。有名なボストンマラソンもこの日に行われます。

さて、今回は、前回登場したメルローズ・ハイランズ駅からさらに進んでグリーンウッド駅を訪れます。この駅はメルローズの隣、ウェイクフィールドの町に位置します。第21-25回で取り上げてきた駅と同様、1845年のボストン・アンド・メイン鉄道の開通により誕生した駅です。正確な開業日は不明ですが1950年までにはオープンしていたようです。構造は2面2線。線路の間に1か所、渡し板がかかっており、駅構内を出なくてもホーム間を行き来することができるようになっています。ホームには小さな待合所があるのみで、駅舎は見当たりません。かつては駅舎があり、中で切符も販売されていましたが、1952年に閉鎖され、駅舎は1962年に遊園地の施設として移設されました。また、カリフォルニア州の鉄道博物館のファサード(正面部分)は、かつてのグリーンウッド駅のレプリカとされています。

周辺は静かな住宅地で、前回取り上げた駅同様、当駅を「フラッグストップ」としている列車が多いです。ウェイクフィールドの中心街からは2km以上離れており、市街地の賑わいも見られない場所です。近くの踏切には踏切番の小屋が残っていますが、踏切自体はもちろん完全自動化されており、開閉に人の手を要することはありません。また、このエリアには1884年に建てられたクイーン・アン様式のグリーンウッド・ユニオン教会があり、歴史建造物に指定されています。



お知らせ

◆ 令和7年4月1日より入院時の食事にかかる患者負担額が変わります

近年の食材費等が高騰していること等を踏まえ、健康保険法ならびに高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、入院時の食事にかかる患者負担額が以下の通り変更になります。

区 分	負 担 額	
	3月31日まで	4月1日から
①一般の方	490円/食	510円/食
②住民税非課税の世帯に属する方(③を除く)	230円/食	240円/食
③②のうち、所得が一定基準に満たない方など	110円/食	110円/食 (変更ありません)

※指定難病又は小児慢性特定疾病の方は280円から300円へ変更となります。
※オンライン資格確認で減額認定区分が確認できない場合、保険者が発行する「限度額適用・標準負担額減額認定書」等の提示が必要になります。
※ご不明な点がございましたら事務課入院担当までお申し出ください

お 知 ら せ

◆ 入院中の方へ手続きのお願い

入院時食事代標準負担額の減額認定及び入院医療費の限度額適用認定、国民健康資格確認証、後期高齢者医療資格確認証、ひとり親・障害受給者証の有効期限が7月31日までとなっておりますので、**8月中**に各市町村などの窓口で手続きをしていただき、新しい認定証をウトナイ病院事務に提出していただけますようお願い致します。

ご不明な点がございましたら各市町村などの窓口又はウトナイ病院医事課までお問い合わせ下さい。



◆ 「うとない」デジタル配信について

広報「うとない」はネットでもご覧いただけます。コラム「身近な鉄道について考える」と連動した写真も見ることが出来ますので、是非下記のQRコードから覗いてみてください。

ウトナイ病院ホームページ

<https://www.uenae-hp.or.jp/about/#about-3>



病む人と出会い
病む人を支え
病む人に学ぶ

発行

社会医療法人こびし広報委員会
苫小牧市ウトナイ南2丁目1-8
TEL:0144-84-5561
<http://www.uenae-hp.or.jp/>



2階作業療法室の棚

〈後記〉新年度になり1ヶ月が経ちました。わが子供も学校を卒業して新しい道に進みました。希望と不安と入り交じり、まだまだ緊張の日々を送っていますが、色々なことを体験しより大きく成長してほしい、親としてできる限りの応援をしたいと思っています。頑張れ!! 我が子供よ!! (Y.C)